

社会保険労務士からの三方一両得だより

令和7年7月20日 第190号

スタンダードベーカースが閉店します

以前紹介したことのある、大谷のスタンダードベーカースというパン屋が今週末で閉店します。ハード系のパンをたくさん扱っており、私も大好きだったのですが残念です。カフェが併設されていて食事もおいしかったのです。土日は客が結構入っている印象でしたが、平日はあまり売り上げが立たなかったのかもしれない。私も大好きと言いながらも、自宅からは結構遠いので、お店に行くのは年に1回位でした。



7月27日閉店

お店の前の大谷コネクトという施設で、サマーカーニバルを開催していました。旧大谷公会堂という大谷石で建てられた立派なホールがあります。そちらで市内のフラダンス教室の皆さんのフラダンスが披露されていました。フラダンスというと、ゆったりとした曲調のイメージがありましたが、早いテンポで3種類の楽器を演奏しながら踊るものもあり、多彩でした。



客席は一杯です。



先端には実がついていません。

我が家の畑
強風で倒れてしまつて、収穫が危ぶまれたともろこしですが、意外にもそこそこ良い状態で採ることができました。防虫ネットが無かったのに害虫の被害はほとんどありませんでした。あまり期待していませんでした。無防備になつてしまい、カラスにかなり食われてしまったので、収穫量はわずかでした。野菜の生命力、回復力には、驚かされます。雨が少ないため、エダマメは実があまり大きくありませんでした。オクラの収穫が始まりました。

精神障害の労災認定が過去最多、 カスハラ原因は倍増

厚生労働省は、令和7年6月25日、令和6年度の「過労死等の労災補償状況」の取りまとめを公表しました。

令和6年度の過労死や仕事のストレスによる精神障害などを理由とした労災補償の請求件数は4,810件で、前年度から212件増え、過去最多となりました。実際に過労死等の労災認定された件数も、前年度より196件多い1,304件と過去最多となっています。



仕事上の強いストレスが原因でうつ病などの精神障害となり、労災認定された人は1,055人で、前年度に比べて172人増えました。このうち、自殺や自殺未遂は88人で、9人増加しています。精神障害による労災と認定された人は6年連続で過去最多となり、初めて1,000人を超えました。

原因別では、「上司等から、身体的攻撃、精神的攻撃等のパワーハラスメントを受けた」が224件で最多、次いで「仕事内容・仕事量の大きな変化を生じさせる出来事があった」が119件、「顧客や取引先、施設利用者等から著しい迷惑行為を受けた」(カスタマーハラスメント)が108件でした。カスハラは、令和5年度から新たに原因項目に追加され、7か月分で52件でしたが、通年の今回はセクハラとの105件を上回り、原因別で3番目の多さとなりました。

カスハラは、昨今、大きな社会問題となっています。2025年6月に、改正労働施策総合推進法が成立し、企業にカスハラ防止対策が義務付けられました。この義務に違反した事業主は、報告徴求命令、助言、指導、勧告または公表の対象となります。労働者が1人でもいれば、事業主に該当すると考えられますので、まだ取り組み始めている企業は、施行日までにカスハラ対策をすることが必要です。